



切手偏見

外国との関係事項記念切手に記される 国名表示等を考える

2017年、国交樹立記念切手で2件20種発行された。この切手を見て、本会報50号20ページで触れた国名表示についての疑問が思い出された。デンマーク、モルディブとの国交樹立記念切手の国名表示が「日デンマーク外交関係樹立」「日・モルディブ外交関係樹立」と異なっていた。

表1 国名が記された切手の発行件数

国名	件数
アメリカ	7
中国	6
ブラジル	3
韓国	3
イタリア	2
インド	2
オランダ	2
ドイツ	2
ポルトガル	2
メキシコ	2
アルゼンチン	1
オーストラリア	1
オーストリア	1
ギリシャ	1
ケニア	1
サンマリノ	1
シンガポール	1
スイス	1
スペイン	1
スリランカ	1
タイ	1
チリ	1
デンマーク	1
トルコ	1
パキスタン	1
(ハワイ)	1
ハンガリー	1
バングラディシュ	1
フランス	1
ペルー	1
ベルギー	1
ボリビア	1
モルディブ	1
モンゴル	1
ロシア	1
総計	56

ク外交関係樹立」「日・モルディブ外交関係樹立」と異なっていた。この際、前回の宿題を果そうと戦後の切手を整理してみた。外国名、外国地名（観光地名等除く）が切手に表記されたものは56件246種であった。その国名は表1のように、我が国の現状の反映さ

表2 切手発行表示内容

発行内容	件数
国交正常化	7
国交樹立	5
国交	1
修好	4
修好通商	1
修好宣言調印	1
修好通商条約署名	1
外交関係樹立	5
移住	5
交流	5
交流年	5
における	3
平和友好条約	2
友好	2
からの寄贈	1
フェスティバル	1
への寄贈	1
安全保障条約改定	1
国名	1
戦争	1
訪米	1
総計	56

れた結果が数の上に感じられる。それは近隣国、ヨーロッパ諸国名は切手に印刷されていたが、アフリカの国が1ヶ国しかないことである。また、歴史的に交流のあるイギリスが無いことに注意された。

つぎに、どのような事柄から切手に表記されたか、整理すると、表2の様な結果であった。外交上の事柄が多いのは必然かと思うが、じっくりみると国名表示と同様に疑問を持たざるを得ない表示内容が国交で3つ、修好で4種みられた。

「国交」で、「国交正常化」が7件見られるがすべて中国、韓国が対象となっており、他の国と異なる問題を抱えた国交回復の難しさの反映、戦後処理の難しさを考えさせることとして理解できる。疑問なのが「イタリア国交150周年」という表示。他は「樹立」の文字が続いているのが略されている。まさか「断絶」と考えはしないということから大切な文字がデザインのため略されてるのであれば如何なものであろうか。



「国交」の3つ表示



「修好」の4つ表示



「交流年」の4つ表示
年の表示にも数種類

また、「修好」では、「通商条約」の表示が1件、しかも「署名」「宣言調印」までの表示が各1件、他は「修好」と表示、「修好通商（航海）条約」表示と統一性を欠いていると考えた。更に、交流年の表示も西暦、元号の順、年表示等で統一性を欠いている。

このように発行目的表示を整理する中で基本的な疑問を感じた。修好、国交樹立と外交関係樹立、どう違う

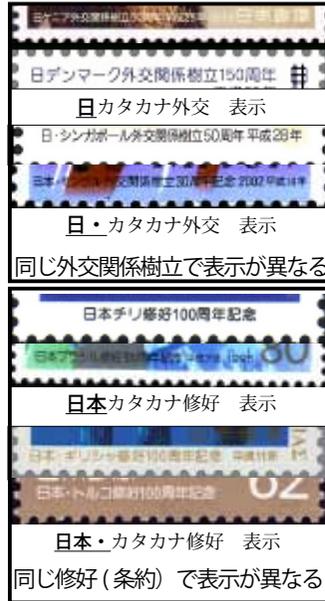


日本・トルコ修好 100 周年、日蘭交流 400 周年切手外交上の事項ではなく、船の遭難、救助が周年の起点だろうかということである。記念事項を調べてみるとますます理解に苦しむ。国交と記された中に修好通商条約締結年を根拠としていると考えられるのが、スイス、イタリア、パキスタン、デンマーク、これらは修好にせず、国交樹立とした切手である。また、修好と記された中に日本・トルコ修好 100 周年切手のように修好条約締結年の 40 年前の和歌山県串本沖でのエルトゥール号遭難事件の年を考えさせ、条約でなく修好という言葉の意味で発行されたものである。また、交流年切手も修好通商条約、文化協定、友好条約等の外交事項から商船の遭難漂着までを発行理由といろいろ考えられる。このように切手発行目的では広い意味で国交、修好、交流という意味を使用していることを知ることができた。更に、国の選択にどのような物差しが使用されているのか、本年のモルディブのように外交要件より友好議員連盟なる団体を思い浮かべるのは考えすぎであろうか。

次に、本来の目的の国名表示を整理したのが表 3 である。日本を表記するのに 4 つの表記があり、相手国表記も 2 つあり、この組み

表 3 国名表示の形式

表示形式	件数
日・カタカナ国名	2
日カタカナ国名	3
日漢字国名	19
日本・カタカナ国名	8
日本カタカナ国名	11
(日本における)カタカナ国名	3
(日本人)カタカナ国名移住)	2
カタカナ国名	2
カタカナ国名(移住)	2
カタカナ地名(官約移住)	1
漢字国名	1
漢字国名(2文字)	2
総計	56



表示のバラエティー
この点、外務省サイトでの文書の表示と同じことがみられ、外務省からの意向が切手に反映していると考えざるを得ない。2008 年にイギリスと修好 150 周年記念切手が発行されていれば、表 4 のような表示が想定される。このような理解できない慣例、規則にしばられた表示でなく、常識的な理解しやすい表示が切手にはなされるべきではないかと考える。

表 4 対イギリス関連切手に表記されるのはどれ？

日・イギリス	日・イギリス	修好通商条約 150 周年
日イギリス	日イギリス	修好通商条約 150 周年
日本・イギリス	日本・イギリス	修好通商条約 150 周年
日本イギリス	日本イギリス	修好通商条約 150 周年
日本英国	日本英国	修好通商条約 150 周年
日本・英国	日本・英国	修好通商条約 150 周年
日英	日英	修好通商条約 150 周年

表 5 漢字国名数

漢字表記	件数
日中	6
日米	4
米国	2
米	1
日韓	3
日露	1
日蘭	1
日墨	1
日独	1
日豪	1
日印	1
総計	22

合わせて 5 つの表記がみられる。つまり、日本と表記せず本を省略し、日とし、相手国名との間に中点・'・'を入れるか、入れないか、日本と相手国の間に中点・'・'を入れるか入れないかの違いである。この使用が発行目的によって異なっていることは見られなかった。

更に、表示上考えるべきことが 2 点ある。第 1 は漢字での国名表示である。日米、日中、日韓等の表示である。日本・アメリカ、日本・中国、日本・韓国の表示の方が判りやすく、しかも国名を略記するという礼を欠くことが無くせると感じる。マスコミメディアの表示と切手の表記は異なるのではないかと。切手に表記された漢字国名表記は表 5 のように 11 ケ国が漢字で切手に表



同一国でありながら、カタカナと漢字の国名表示

記されている。この中でドイツ、インド、オランダ、メキシコは漢字とカタカナと異なる表記がされて切手になっている。

漢字を国名に使用することは止めてほしいとの意見が日本語、漢字を理解する外国人から出ているという新聞記事を目にしたことを思い出した。

2017.4.1 東京新聞 朝刊記事 抜粋

『独』国名の当て字やめて

漢字愛するドイツ人・八王子のシュミッツさん

漢字を愛するシュミッツさんが嫌いな漢字が、ドイツの当て字「独」だ。獣偏を使っていることに、差別視がうかがえるという。

「漢字を知るドイツ人としては、この文字は変えてほしい。白川さんも生前、シュミッツさんの主張を聞いたとき「それが日本人の中華思想ですよ」と差別意識が文字に表れていると同意したという。新聞を読んでいて、ドイツの出来事を報じた記事の見出しに『独』があると悲しい気持ちになる。「余計な意味が込められないよう。漢字を便わない国には当て字をせず、カタカナで統一してほしい」

注・白川 静 中国の甲骨文字を研究し、渡字の字形には呪術や祭祀にかかわるものが多く含まれるとする『白川文字学』を打ち立て、2004年に文化勲章を受章した。

さっそく、白川 静 著の常用字解で「独」を調べてみた。

「獨」(独)の蜀は牡の獣の形で、虫(き)の部分はその性器の形。牡の獣は群れを離れていることが多いので、「獨」は一匹の獣の意味から人に移して「ひとり」の意味にもちいる。

と記されている。インドの印、メキシコの墨(墨西哥)を調べると、やはりやや抵抗を感じる意味を持っている。国際化が益々進む中、切手という国の公のシールに音読みを

拾った漢字をもちいていくことは検討されるべきであろう。

2点目は発行目的の表示に用いられている言語、つまり相手国の言語で発行目的が表示されているかということである。表6のように60%近くが日本語以外の言語で表記されているが、すべてが相手国の言語でなく英語で表記されているものが見られた。ベルギー、オーストリア、スイスなどである。相互理解の目的で発行されるのであれば相手国言語での表記が100%なされるのが自然であろう。更に気になるのが説明なしの半数以上を占める、日中、日韓の切手である。難しい問題を抱えるだけに日本・中国、日本・韓国という表記はもちろん、加えて、発行目的の説明には中国語、韓国語を加えるべきであろう。過去の漢字でない中国漢字を学ぶ中国の若者に日本漢字は難解なものになっていること、韓国での漢字の位置づけを考慮して、中国漢字、ハングル表記での発行目的の説明が検討されるべきと考える。

また、切手でなくシートだけに外国名が英語で3ヶ国3件、日本語表記で10ヶ国1件に表記されている。

以上、外交、国際親善に関わる切手での国名表記、外国語使用の問題を整理したが疑問と検



交流年2009の日本、オーストリア両国発行の切手、わが国は英語の発行説明あるが・・・

表6 発行目的説明に使用の外国語

言語	件数
イタリア語	3
オランダ語	1
ギリシャ語	1
スペイン語	6
ドイツ語	1
ハンガリア語	1
フランス語	1
ポル語	2
モンゴル語	1
英語	15
説明なし	24
合計	56

討課題を強く感じる結果であった。今後は外国切手の表記など注意して切手をながめていきたい。(おがわ)